

ぴあ Happiness 通信

第9号

発行日 令和5年6月7日

目次:

地域生活で今思うこと

～病氣と仕事～

～うしろめたさと不安～

～うしろめたさと幸せ～

とっておきの一枚

～メッセージ～

やまどんの第2弾の投稿です。いつもしっかりしている印象のピアサポーターさんですが、その内面には様々な不安や葛藤を今もずっと持ち続けて生活をされています。

『社会の一員として自分ができることは？今できることの限界と受容、これからの希望』などいろいろ自分なりに考えるきっかけになりました

是非ご一読ください！！

地域生活で今思うこと



病氣と仕事

私は14才で精神疾患になりました。現在48歳。5年かけて高等学校を卒業し、その後は「保線」というJRの線路交換や冷蔵庫などの大物家電の配達などの肉体労働をしてきましたが、30才で統合失調症と診断。入退院後は当時、男31才。若さとエネルギーもあり就労意欲もあったので、就労支援デイケアへ入所その後、介護の世界へと入りました。そこで私が担当となった利用者さんが、過去にイジメられた事を思い出して「あいつ殺したる！」と激しい感情を爆発させることがある

という方でした。私自身、仕事と割り切れたらよかったんですが利用者さんの激しい感情をモロに受けてしまい、体調を崩し、職を離れました。それ以来、介護職にトラウマを感じる所があって、その後は喫茶店でコーヒーを入れる仕事をしています。現在は不景気で喫茶店の仕事が忙しくなったらまた声をかけてもらう事にし、いまは主にピアサポート活動をしています。

うしろめたさと不安

先日観た番組で、FIREの特集をしていました。豊かな人生になったという人もいましたが、実現し多くの自分の時間を過ごしたものの何もしていない虚無感に襲われ、再び社会と接点のある会社へと戻って行く人が出ていました。この番組を観て私の抱えている思いとリンクしました。私は主に社会保障の施策（年金や福祉）で生活をしています。これまで私が就労を何回も挫折した経緯は、自分の中で仕事の課題や悩みが山積

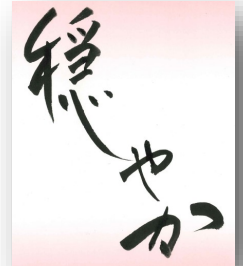


して押し潰されてクリアしていく事が困難になる、この事の連続でした。施策は法的に認められている事ではあるものの、やっぱり「後ろめたさ」を感じ、これまで社会復帰へチャレンジしてきました。しかしドロップアウトの繰り返しで、越えられない高いハードルを学習してしまった感があります。14才からの病気の影響で発達すべき所が、欠落してしまったのかと思う時すらあります。

うしろめたさと幸せ

でも人生うまく出来ているのか若い時、長い間しんどい思いをしたからか生活の端々、例えば「夕方帰宅してふと一服した時の夕焼けが差し込むひととき」や「バス停でバス待ちしている時」などふと「幸せ」を感じる瞬間があります。人間、時間があるとロクな事を考えないという人もいますが、私は暇な時でも時間を有意義に使い感じる事ができています。FIREの件は毎日の生活、その人にとって「何が幸せなのか？」この番組を観てそういう事なのかなと感じました。「後ろめたさと幸せ」このアンバランスな感情は私がこれからも生活していく上でともなってくるモノではありません。それでも今は支援や制度を利用しながら今できる範囲で色々な事を感じながら、生きて行きたいと思っています。

※『FIRE』とは
「Financial Independence, Retire Early」の頭文字を取ったもので「経済的自立」「早期退職」という意味があり会社勤めをせず資産運用などで生計を立て自分の時間を過ごしていくライフプランのことを言います



募集中！

退院支援を目的として活動しています。ピアサポーターがご協力できそうなことがあれば、是非ご連絡ください。

京都市中部障害者地域生活
支援センター「なごやか」

〔担当・問い合わせ〕
なっちゃん、やまどん、オトコサン、もっちゃん、
洋子ママ、植田、田中
☎ 075-813-0503

とっておきの一コマ ～ここはどこでしょう？～



『解答』

左京区にある岡崎神社の狛うさぎです。うさぎは多産なので子授け・安産の祈願に来られる方も多くいらっしゃるそうです。

『解答』

左京区にある植物園の夜のライトアップに行ってきました。チューリップと桜がとてもきれいです。

『解答』

出雲大社前の竹内まりやさんの生家（竹野屋旅館）。小さい時からビートルズなどを聞かれそして彼女の多くの名曲が生まれました。